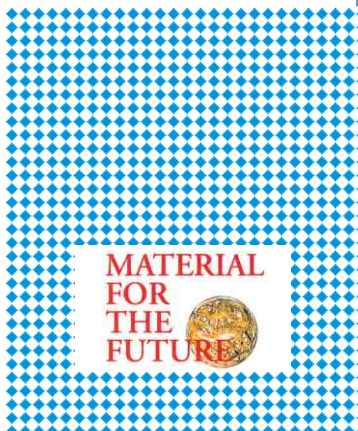


第94期 中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日



次世代マテリアルのパイオニア。
未来への跳躍。



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第94期中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

（1）営業の経過および成果

当中間期におけるわが国経済は、デジタル家電の堅調な伸びや好調な米国、中国経済を背景に輸出、設備投資に支えられ景気は回復基調をたどりました。

当社グループの関連する業界では、デジタル家電や自動車関連など好調な分野もありましたが、ユーザーの海外シフト、安価な海外品の流入、原材料価格の高騰等、経営環境は厳しさを増しており、景気の回復傾向が見られる中で引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループは営業力の強化、製品の価格競争力の向上、新事業新製品の早期立ち上げを年度方針とし、全社一体となって業績の向上に取り組ましました結果、当中間期の売上高は電気電子関連製品が好調に推移し、51億9千5百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上の増加に加え、材料費ほか諸経費の削減や生産の効率化等、低コスト対策に取り組んだことにより、経常利益は2億3千5百万円（前年同期比69.1%増）、中間純利益は土地売却益もあり2億8千万円（前年同期比366.5%増）と大幅な増益となりました。

なお、セグメント別の状況につきましては後掲の「セグメント別の状況」に記載しております。

（2）対処すべき課題と今後の見通し

当社は、激変する経営環境の中で継続的かつ安定的に成長し続けることができる企業体質を構築し、世界トップレベルのオリジナルな技術・商品を提供し続けることを中期的な経営戦略とし、次の課題に取り組んでまいります。

まず、営業、技術一体となったソリューション提案型営業を展開し、さらなる営業力の強化を図り、成長市場でのコア製品、新規商品の拡販を推進してまいります。特に海外事業につきましては、中国およびタイ合弁会社の整備・拡充を図り、国内外の価格競争力を高めるとともに、中国市場へ

株主のみなさまへ

の新たな進出を目的として、本年9月より上海地区において事前のリサーチ活動を開始いたしました。

また、資産のスリム化を図り、財務体質を強化するため、昨年に引き続き遊休資産を売却し、含み益の実現とキャッシュ・フローの改善を図っております。

目標とする経営指標として、ROEの改善、売上高経常利益率の向上に取り組んでおりますが、本年9月に資本政策の一環として自己株式の取得を行い、ROE、1株指標の改善を図っております。



今後の見通しにつきましては、景気は全体としては底堅く推移していくものと思われませんが、米国や中国の景気減速の懸念、原油価格の高騰、デジタル家電の在庫水準の高まりなど一部不透明な要素があり、景気の減速感が出てくることも予想されます。

このような状況の下、当社グループは生産、販売、開発体制の連携を強化し、営業力を強化するとともに収益改善に取り組み、経営基盤の強化を図ってまいります。

商品別では、NTダイカッターの海外展開やデジタルカメラ関連の超精密加工品、磁気ヘッド基板などのコア製品をさらに拡販し、液晶関連のタングステン・モリブデン棒製品などの新規開拓品に注力してまいります。

なお、中間配当金につきましては、株主のみなさまへの安定配当を基本に1株につき2.5円の配当とすることといたしましたので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

取締役社長 吉田省三

セグメント別の状況

■ 粉末冶金事業

■ 電気電子関連

コピー機用タングステン線、重電向け電極、ブレーカー用接点が堅調な需要に支えられて好調に推移いたしました。また、半導体、液晶関連市場の活況を受け、液晶用タングステン・モリブデン棒製品、半導体製造装置用のセラミック部品が増加いたしました。

また、デジタルカメラ用の超精密加工品は引き続き好調に推移し、HDD用磁気ヘッド基板もパソコンやHDD搭載のDVDレコーダーの好調により、売上が伸びました。

この結果、売上高は34億8千2百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は9千8百万円（前年同期比323.0%増）と大幅に増加いたしました。



■ 機械関連

超硬リング・スリーブ製品や切削工具は比較的好調に推移いたしました。主力のNTダイカッターはモデルチェンジが少なく、また海外向けも振るわず大きく減少いたしました。この結果、売上高は14億4百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は6千3百万円（同5.4%減）となりました。

これにより粉末冶金事業全体では、売上高は48億8千7百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は1億6千1百万円（同79.4%増）となりました。



■ 産業用機器事業

主要得意先である半導体製造装置メーカーの設備保守需要が一部回復し、また韓国向けの機械設備の輸出もあり、売上高は2億3千3百万円（前年同期比41.2%増）となり、営業損益は前年同期8百万円の損失から1千4百万円の利益を計上いたしました。



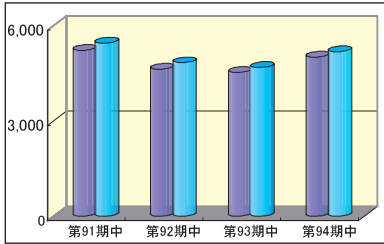
■ その他事業

形状記憶合金製品は事業を大幅に縮小したことに伴い、売上高は7千5百万円（前年同期比19.7%減）となりました。諸経費の削減を図った結果、営業利益は1千8百万円（同12.8%増）となりました。



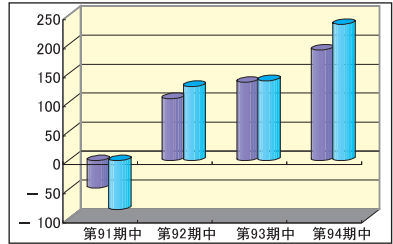
財務ハイライト

売上高（百万円）



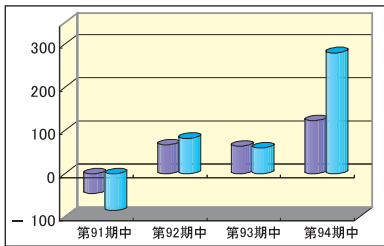
	第91期中	第92期中	第93期中	第94期中
单独	5,235	4,643	4,535	5,021
連結	5,466	4,844	4,692	5,195

経常利益（百万円）



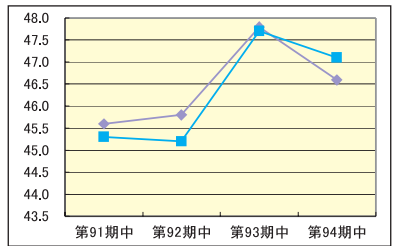
	第91期中	第92期中	第93期中	第94期中
单独	47	107	135	191
連結	84	128	138	235

中間純利益（百万円）



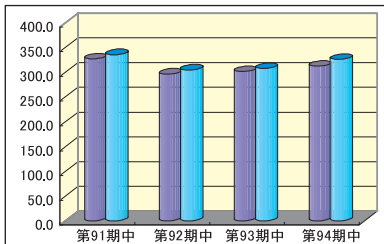
	第91期中	第92期中	第93期中	第94期中
单独	46	67	64	123
連結	85	82	60	280

自己資本比率（％）



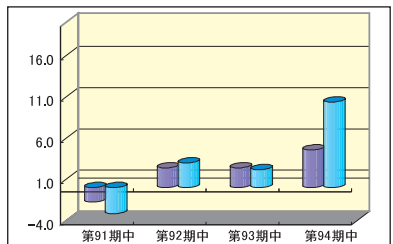
	第91期中	第92期中	第93期中	第94期中
单独	45.6	45.8	47.8	46.6
連結	45.3	45.2	47.7	47.1

1株当たり純資産額（円）



	第91期中	第92期中	第93期中	第94期中
单独	326.7	296.6	301.3	312.5
連結	335.6	304.8	308.1	326.2

1株当たり中間純利益（円）



	第91期中	第92期中	第93期中	第94期中
单独	1.7	2.4	2.4	4.6
連結	3.1	3.0	2.2	10.4

連結決算

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要約)

(単位百万円)

科目	当中間期	前中間期	科目	当中間期	前中間期
流動資産	7,488	7,428	流動負債	5,224	4,417
現金及び預金	1,708	2,008	支払手形及び買掛金	1,212	841
受取手形及び売掛金	3,543	3,377	短期借入金	3,152	2,906
たな卸資産	1,786	1,648	その他	858	668
その他	464	408	固定負債	4,028	4,789
貸倒引当金	13	13	長期借入金	1,041	1,814
固定資産	10,002	10,178	退職給付引当金	1,715	1,941
有形固定資産	8,076	8,316	その他	1,271	1,033
建物及び構築物	5,814	6,137	負債合計	9,252	9,206
機械装置及び運搬具	1,722	1,610	資本金	2,509	2,509
その他	540	568	資本剰余金	2,229	2,229
無形固定資産	35	37	利益剰余金	3,766	3,473
投資その他の資産	1,890	1,824	その他有価証券評価差額金	521	430
投資有価証券	1,616	1,436	為替換算調整勘定	185	144
その他	292	404	自己株式	603	96
貸倒引当金	18	16	資本合計	8,238	8,400
資産合計	17,490	17,607	負債及び資本合計	17,490	17,607

(注)有形固定資産の減価償却累計額 13,705百万円



総資産は有形固定資産の減少等により、前年同期末と比較して1億1千6百万円減少しました。負債は、長期借入金等の固定負債が減少しましたが、流動負債が増加し、前年同期末と比べ4千5百万円増加しました。資本は、利益剰余金が増加しましたが、自己株式の取得により前年同期末と比べ1億6千2百万円減少しました。

連結損益計算書(要約)

(単位百万円)

科目	当中間期	前中間期
売上高	5,195	4,692
売上原価	4,110	3,839
売上総利益	1,085	853
販売費及び一般管理費	893	756
営業利益	191	97
営業外収益	148	182
営業外費用	105	140
経常利益	235	138
特別利益	154	23
特別損失	-	15
税金等調整前中間純利益	389	147
法人税、住民税及び事業税	14	17
法人税等調整額	94	69
中間純利益	280	60

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)(単位百万円)

科目	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	516	442
投資活動によるキャッシュ・フロー	74	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	601	571
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	3
現金及び現金同等物の増加額	158	134
現金及び現金同等物の期首残高	1,867	2,143
現金及び現金同等物の期末残高	1,708	2,008



営業活動によるキャッシュ・フローは、増加しましたが、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローは、減少しました。この結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は、前年同期末に比べ3億円減少し、17億8百万円となりました。



売上高は、前年同期に比べ10.7%増加しました。損益面では、売上原価率が2.7ポイント改善し、営業利益、経常利益とも増益となりました。また、遊休資産の売却益を特別利益に計上し、中間純利益は前年同期比366.5%増となりました。

単 独 決 算

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表(要約)

(単位百万円)

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
流 動 資 産	7,203	7,147	流 動 負 債	5,182	4,419
現金及び預金	1,541	1,837	支払手形及び買掛金	1,164	858
受取手形及び売掛金	3,478	3,323	短期借入金	3,152	2,906
たな卸資産	1,669	1,530	その他	864	653
その他	526	468	固定負債	3,865	4,566
貸倒引当金	13	12	長期借入金	1,041	1,814
固定資産	9,735	10,054	退職給付引当金	1,594	1,792
有形固定資産	7,941	8,230	その他	1,228	960
建物	5,511	5,808	負債合計	9,047	8,986
機械装置及び運搬具	1,621	1,552	資本金	2,509	2,509
その他	808	869	資本剰余金	2,229	2,229
無形固定資産	34	19	利益剰余金	3,236	3,144
投資その他の資産	1,759	1,803	その他有価証券評価差額金	519	428
投資有価証券	1,375	1,221	自己株式	603	96
その他	402	599	資本合計	7,891	8,215
貸倒引当金	18	16	負債・資本合計	16,938	17,201
資産合計	16,938	17,201			

(注)有形固定資産の減価償却累計額 13,295百万円

損益計算書(要約)

(単位百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売 上 高	5,021	4,535
売 上 原 価	4,023	3,747
売 上 総 利 益	998	788
販売費及び一般管理費	847	697
営 業 利 益	151	90
営 業 外 収 益	156	197
営 業 外 費 用	116	152
経 常 利 益	191	135
特 別 利 益	153	23
特 別 損 失	123	15
税引前中間純利益	221	144
法人税、住民税及び事業税	9	10
法人税等調整額	88	69
中間純利益	123	64
前期繰越利益	840	751
中間未処分利益	964	815



遊休資産の売却益を特別利益に、出資金の評価損を特別損失にそれぞれ計上しております。

曲面超硬合金の開発

平成16年度超硬工具協会「技術功績賞」受賞

曲がらないはずの超硬合金。その常識を覆し、超硬合金を曲げた国内初の独自の特殊工法（特開-2003-226585）。その独創性が認められて、平成16年度超硬工具協会「技術功績賞」を受賞しました。

この技術により、これまでは超硬化が難しかった粉碎機・混合機の内外面、曲面を必要とする刃物、曲面形状耐摩耗部品への用途が可能となりました。

従来の製法では、曲面を得るためには、削り出す方法がとられていましたが、超硬合金を曲面にすることで、無駄な材料と加工が不要になり、大幅なコストダウンが可能となります。また大型の製品にも対応でき、厚みも自由に選択できます。ろう付けや機械的な固定が可能ですので、溶射やコーティングのように剥離する心配が無く、信頼性の高い安定した耐摩耗性が得られます。



より多くのお客様に当社製品を広く知っていただき、製品の内容や特徴をご理解いただけるよう各種展示会に出展いたしました。

・第7回コンバーティング機材・特殊印刷展

会期・場所 2004年4月14日～17日・東京国際展示場（東京ビックサイト）
展示会概要 液晶や燃料電池などの付加価値の高い製品の材料となるフィルムや金属箔、紙・不織布紙、プラスチックを加工する機材を扱った展示会
出展製品 NTダイカッター、曲面超硬合金

・DSJ '04（第6回ダイカッティング・シンポジウム・ジャパン）

会期・場所 2004年10月21日、22日・マイルドームおおさか（大阪）
展示会概要 紙、フィルム、シール・ラベルを加工とする抜型に特化した製造と技術の展示会
出展製品 NTダイカッター、超々微粒子超硬合金

・JIMTOF2004（第22回日本国際工作機械見本市）

会期・場所 2004年11月1日～11月8日・東京国際展示場（東京ビックサイト）
展示会概要 世界の三大工作機械見本市に数えられている展示会の一つであり、520社が出展し、世界最高水準の機械・工具・測定器などの総合展示会
出展製品 NTダイカッター、曲面超硬合金、超々微粒子超硬合金



超々微粒子超硬合金
SFシリーズ切断刃



NTダイカッター

企業結合の状況 重要な子会社等の状況

■ 連結対象子会社

株式会社	福岡機器製作所	福岡市博多区	産業用機器事業
株式会社	昭和電気接点工業所	福岡県飯塚市	粉末冶金事業(電気電子関連)
株式会社	エヌ・ティーサービス	福岡市博多区	その他事業

■ 持分法適用関連会社

サハビリヤニッタン株式会社	タイ王国バンコク市	粉末冶金事業(機械関連)
SVニッタンプレジジョン株式会社	タイ王国バンコク市	粉末冶金事業(機械関連)
四平日本タングステン有限会社	中国吉林省四平市	粉末冶金事業(電気電子関連)
九江日本タングステン有限会社	中国江西省九江市	粉末冶金事業(電気電子関連)

会社の概要 (平成16年9月30日現在)

■ 設立	1931年(昭和6年)4月1日
■ 資本金	25億950万円
■ 従業員数	492名(連結546名)
■ 本社	福岡市博多区美野島一丁目2番8号
■ 事業所	東京支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、香港ランチ 基山工場、飯塚工場、宇美工場
■ 役員	取締役社長 吉田省三(代表取締役)
	専務取締役 小倉伸一
	常務取締役 石橋修
	取締役 怡土宣彦
	取締役 高尾幸生
	取締役 柘植成彬
	取締役 鎌田迪貞 九州電力株式会社 代表取締役会長
	取締役 本田卓実
	常任監査役 弥吉元戎(常勤)
	監査役 原芳道(常勤)
	監査役 今村毅 九州電力株式会社 常務取締役
	監査役 寺本清 株式会社福岡銀行 取締役頭取

株式の状況（平成16年9月30日現在）

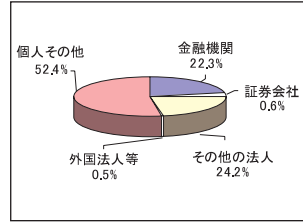
■ 会社が発行する株式総数 100,000,000株

■ 株式の分布状況

■ 発行済株式の総数 27,777,600株

● 所有者別分布

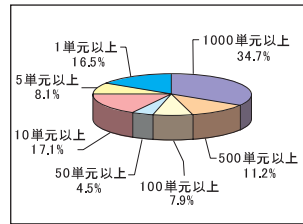
■ 株主数 3,982名



■ 大株主 (千株、%)

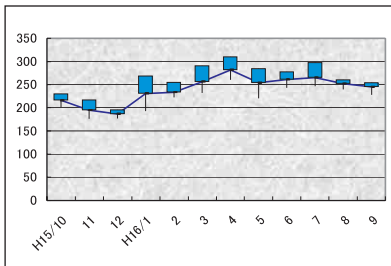
株主名	持株数	持株比率
株式会社 東 芝	959	10.65
九州電力株式会社	1,666	6.00
株式会社 福岡 銀行	1,255	4.52
共栄火災海上保険株式会社	1,117	4.02
みずほ信託銀行株式会社	643	2.31
自社従業員持株会	631	2.27
株式会社 日立製作所	619	2.23
明治安田生命保険相互会社	601	2.16
株式会社 新生銀行	68	2.04
株式会社 UFJ銀行	491	1.76

● 所有数別分布

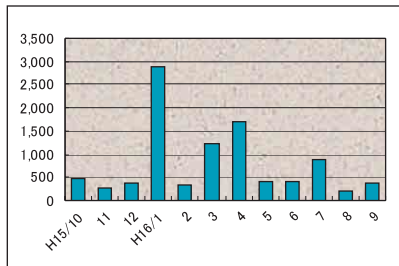


上記のほか、自己株式を2,527千株保有しております。

■ 株価の推移(円)



■ 出来高(千株)



(備考) 株価および出来高は東京証券取引所での取引実績に基づいて記載しております。

■株主メモ

- ・決算期 3月31日
- ・基準日 定時株主総会、利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
- ・定時株主総会 6月
- ・1単元の株式の数 1,000株
- ・上場証券取引所 東京(2部)、福岡
- ・証券コード 6998
- ・名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- ・同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店
- ・お問い合わせ先 〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(03)5213-5213(代表)
- ・決算公告 当社ホームページ<http://www.nittan.co.jp/>に
掲載しております。

(ご案内)

株式の名義書換、単元未満株式の買取請求、配当金振込銀行の変更などの諸手続きに必要な書類や手続き方法は、下記みずほ信託銀行株式会社のホームページでご覧いただけます。

<http://www.mizuho-tb.co.jp/cindex.html>



本 社 〒812-8538 福岡市博多区美野島一丁目2番8号
TEL(092)415-5500(代表) FAX (092)415-5511
ホームページアドレス <http://www.nittan.co.jp/>



古紙配合率100%
再生紙を使用しています



この報告書は、環境にやさしい大豆インクと
再生紙を使用しています。